

# (仮称) ちよだエコセンター構想案

## ■ 背景

### (1) 地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策が待ったなしの状況を迎えている中で、CO2 排出量のさらなる削減が世界の潮流となっている。千代田区は地球温暖化対策地域推進計画 2015 に掲げた対策目標を着実に実行していかなければならない。



### (2) 深刻な廃棄物処理問題

廃棄物は環境問題の原点であり、大量廃棄型の社会システムから持続可能な資源循環型社会への転換が求められている。清掃工場を持たない千代田区は、より一層のごみ減量と資源回収を推進していかなければならない。

### (3) 生物多様性の推進

地球上の生きものや生態系は深刻な危機に瀕しており、生物多様性の問題が喫緊の課題となっている。皇居を中心とする豊かな生きもののネットワークを周辺地域に広げることが千代田区としての役割であり、生物多様性について理解と協力を深めていく意識の醸成が求められている。

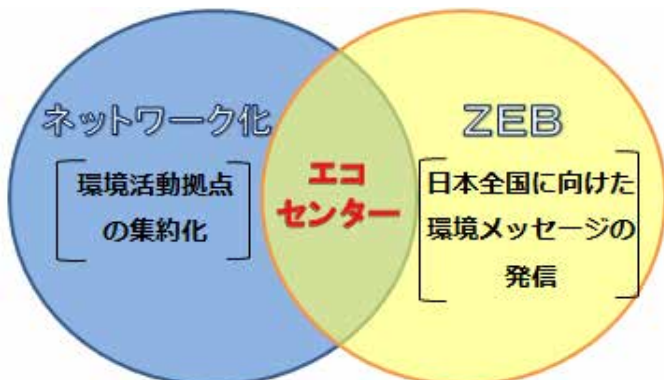
## ■ 設立根拠

(1) ちよだみらいプロジェクトにおいて「事業者・団体・家庭などでの活動を促進する拠点として (仮称) エコセンターを整備する」と明記している。

(2) 千代田区地球温暖化対策条例に基づく千代田区地球温暖化対策地域推進計画 2015 において「(仮称) ちよだエコセンターの開設」と「ZEB モデル施設の設置」を主要事業として明記している。

## ■ コンセプト

千代田区に住み、働き、学ぶすべての人たちが、地球温暖化対策や地域の環境改善に寄与する様々な取組みに関心を持ち、自らのこととして意識を高め、行動に移してもらうためのきっかけの場とする。



### (1) 環境活動拠点の集約化

区内に点在する活動拠点を集約化することで、環境に関わるヒト・モノ・情報などのネットワーク化を図るとともに包括的な環境活動の拠点とする。

### (2) 日本全国に向けた環境メッセージの発信

環境モデル都市千代田が環境のトップランナーとして、新技術を駆使した次世代型モデルビル (ZEBビル) を通じて、低炭素化の促進を内外にアピールする。

■ ちよだエコセンターの具体的な機能と特徴

① 学びの場

環境学習の拠点



- ・ 環境学習室  
(会議室・図書室兼用)
- ・ 展示スペース
- ・ ビオトープ

環境に関する講座・講習会・見学会等を開催し、温暖化対策を含めた環境全般の意識啓発を図る。

② 発信する場

環境マネジメントシステム普及の拠点



- ・ CES 推進協議会活動拠点

千代田エコシステム (CES) や他の環境団体等の活動拠点の集約化により、人・情報ネットワーク化と常時活動できるスペースの確保

③ 実践する場

リサイクルの拠点



- ・ リサイクルショップ
- ・ 改修工房
- ・ ストックヤード

鎌倉橋のリサイクルセンター、旧神田保育園のストックヤード・改修工房の集約化と3Rの実践

④ 交流する場

環境ネットワークの拠点



- ・ 環境交流スペース、ギャラリー
- ・ 環境関連インキュベーターオフィス

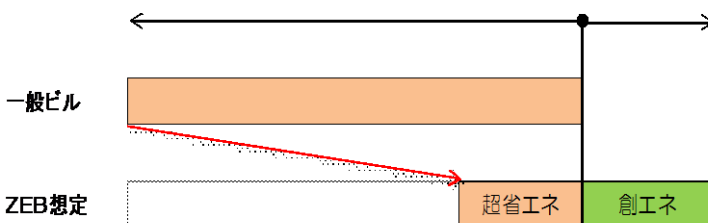
CES や環境団体・サークル・NPO 等の活動の場や環境に関わるヒト・モノ・情報のネットワーク化と連携

⑤ 創造する場

新技術を駆使した次世代型省エネモデルビル (ZEB)

生物多様性に配慮した空間整備

消費エネルギー 生成エネルギー



再生可能・新エネルギー等の活用



【ZEBの定義】  
超省エネ対策を行い、必要最低限の消費エネルギーを創エネで補い、年間収支 0 (ゼロ) とする

収支 0 (ゼロ)

■ 今後のスケジュール (予定)

〈平成 28 年度〉

- ① 構想案に対する意見聴取等
- ② 整備に向けた調査・検討